

平成28年度誠光会事業計画

誠光会のモットー：顔と顔／心と心(FACEtoFACE／HEARTtoHEART)

法人の長期目標

社会福祉の理念を遂行できる法人
 社会福祉法人の役割を理解し、その機能を更に拡大できる法人
 社会福祉変革期に対応できる法人
 地域の人々が安心して暮らせるための取り組みができる法人
 地域の福祉人材を育てられる法人

年度事業計画

理事会の開催

- ・決算、予算理事会
 - 5月 平成27年度事業報告及び決算
 - 3月 平成29年度事業計画及び予算
 - 社会福祉法人改革への対応
- ・各施設の整備工事等のための理事会
 - 誠光荘の改修工事等に関わる審議
 - 桜林館外溝工事等に関わる審議
- ・その他審議を必要とされる理事会
 - 各施設の運営に関わる審議

法人組織強化

- ・法人全体の総合的な組織強化
 - 施設支援課(誠光荘)地域支援課(桜林館・ケアホームひかり・居宅事業・相談事業)の積極的な組織充実
 - 法人のキャリアパスの仕組みの実践と更なる充実
 - 法人運営に関わる人材育成
 - 就業・給与規定等の見直し(2～3年継続取り組み)

法人のサービス確立

- ・徹底したコミュニケーションからサービスを考える
- ・法人として地域に向けてのサービスを更に模索・実践する

法人事業の強化・拡大

- ・現状の事業強化
 - 役員の更なる福祉事業への理解の強化
- ・法人の積極的な情報開示
 - ホームページ・広報誌・社福経営協等への事業報告、決算等の開示
- ・今後に向けての新規事業の研究
 - 中長期的な法人の事業計画立案
(グループホーム等その他の事業)
- ・他の事業所との連携及び強化
 - 渋川広域障害福祉なんでも相談室との連携強化
 - B型就労支援センターすばる・ケアハウスポールスターとの連携
 - その他、他の事業所との連携の模索
- ・将来を見据えた人材確保



平成28年度 誠光会 各事業所会議形式

	会議名	構成	会議内容	議長	記録	開催日
事業所全体	責任者会議	総合施設長 施設長 部長・課長・係長 アドバイザー	各事業所間の報告・連絡・相談、業務全般及び利用者支援に関わる懸案事項	部長	課長 係長	月1回
	職員全体研修会議	全事業所職員	事業計画	部長	課長	3月 10月
誠 光 荘	施設支援会議	施設支援課 (課長・係長・主任 リーダー)	業務全般の問題点及び利用者支援に係る検討	課長	主任 リーダー	月1回
	サービス担当者会議	施設支援課・看護課 調理課(課長・係長 主任・リーダー・看護師 ・栄養士・OT・PT)	栄養マネジメント リハビリマネジメント 及び利用者支援に係る検討	課長	主任 リーダー	月1回
	各棟支援会議	(サービス管理責任者・棟リーダー・生活支援員・看護師・OT・PT)	個別生活支援計画の検討・作成・評価 利用者支援・リハビリ等に係る検討	課長 係長	支援員	随時
	看護課会議	看護課 (看護師)	看護業務における問題検討	主任	看護師	月1回
	調理課会議	調理課 (栄養士・調理員)	給食全般に係る問題検討	主任	調理員	月1回
	クラブ・班 委員会会議	施設支援課 (クラブ員・班員・委員)	クラブ・班・委員会の運営検討	委員 班員	委員 班員	年2回
	行事会議	施設支援課 (行事担当・利用者)	行事運営に係る事項	実行委員	実行委員	随時
桜 林 館 ・ ひ か り ・ 居 宅 介 護	地域支援会議	(地域支援課長) デイサービス (係長・リーダー 看護師) ケアホーム (係長・リーダー) 居宅介護 (係長・主任)	地域生活に係る報告・連絡・相談及び業務全般検討	課長	係長 主任 リーダー	月1回
	デイサービス 会議	(デイサービス職員)	業務全般及び利用者支援に係る問題点検討	係長	支援員	月1回
	ケアホーム 会議	(ケアホーム職員)	業務全般及び利用者支援に係る問題点検討	係長	支援員	月1回
	ヘルパー 会議	(ヘルパー職員)	居宅介護に係る業務全般及び技術指導の検討	係長	支援員	月1回

全体会議
(全事業所職員)

施設支援会議
課長
係長
主任
リーダー

サービス担当者会議
(課長・係長・主任・リーダー
看護師・栄養士・OT・PT)

各棟支援会議
(サービス管理責任者・棟リーダー・支援員・看護師・OT・PT)

クラブ、班、委員会
(担当職員)

責任者会議
総合施設長
施設長
部長
課長
係長
アドバイザー

看護課会議
(看護師)

調理課会議
(栄養士)
(調理員)

行事会議
(担当利用者・担当職員)

地域支援会議
課長
係長
主任
リーダー
看護師

ヘルパー会議
(ヘルパー職員)

ディサービス会議
(ディ職員)

ケアホーム会議
(ケアホーム職員)

誠光荘運営指針

目的

重度の身体障害のため、常時介護と医療的なケアを必要としながらも、家庭では十分な介護をすることが困難な18歳以上の方々に対し、長期にわたって介護し、日常生活動作の訓練や社会的リハビリテーションを通して自立支援を行う。また、利用者個人の尊厳を保持しつつ、社会生活への適応性を高めるために処遇の充実及び生活の安全を図りながら、利用者の立場に立った適切な施設支援を提供することを目的とする。

運営方針

利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って施設支援を提供する。また、入居されている方にとって、誠光荘は家庭に代わる生活の場です。よりよい環境で適切な介護を受け、社会の一員として地域と交流し、明るく、楽しく、お互いが思いやりの気持ちを持ち、毎日を安心、快適に暮らせるよう運営していく。

- (1) 障害者総合支援法及び関係法令に基づき適正に運営する。
- (2) 「顔」と「顔」・「心」と「心」の結びつきを大切にする。
- (3) 利用者及び職員が、明るく、楽しく、思いやりの気持ちをもてる環境を作り、さらに、利用者個々のニーズにあった生活を送れるよう援助する。
- (4) 地域社会に積極的に参加・貢献し、地域社会から支持される施設を目指す。
- (5) 職員の自己啓発はもちろんのこと、職員同士がお互いに育てあえる環境にする。
- (6) 全国身体障害者施設協議会倫理綱領の基本理念に基づき運営する。

支援基本方針

- (1) 利用者個々のニーズに沿った支援を基本として、コミュニケーションを大切にして、生活面・医療面・栄養面をサポートする。
- (2) 自主性・主体性を大切にし、積極的に地域社会への参加を支援する。
- (3) 家族・福祉・地域住民等との人間関係を大切にし、相互理解を深める支援をする。

平成28年度誠光荘事業計画

誠光会のモットー：顔と顔／心と心(FACEtoFACE／HEARTtoHEART)

<p>施設の長期目標</p>	<p>すべての人が毎日を安全に安心して暮らせる施設 お互いを尊重し、一人ひとりがその人らしい生活を過ごせる施設 障害福祉変革期に障害者支援施設として対応できる施設 誰からも支持され選ばれる施設 地域社会に貢献できる施設 福祉人材を育てる施設</p>
<p>①健全運営(安定した経営戦略)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉変革期の中での経営を実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援施設の経営を実践する(視覚・聴覚加算)建替え等を見据えた入所定員について考える 生活介護事業の運営を考える 施設入所支援事業の運営を考える
<ul style="list-style-type: none"> ・他事業との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の積極的な取り組みと更なる連携 ・ケアホームひかり・居宅事業・桜林館との更なる連携 ・他の事業所(就労B・他ケアホーム)との連携
<p>②利用者が安全・安心に生活できる環境の確保</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・建物設備の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物内部の見直し 食堂段差の改修工事・多目的室等の改修 浴室脱衣所の改修・その他必要に応じた設備の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・通院・外出等環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援課との連携強化
<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心できる人材の確保
<ul style="list-style-type: none"> ・夜間等緊急時対応の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引等の積極的な取り組みと資質向上 施設支援課・看護課の連携の充実 協力病院との連携の充実 防災活動の充実(他施設等との連携) 緊急用設備等の充実
<p>③利用者個々のニーズにあったサービスの提供</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・組織再編 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者支援施設・日中活動における職員体制の整備(グループ担当制から棟別リーダー制) 徹底したコミュニケーションの実施 利用者個々にあったケアプランの作成と実施(離床及び施設内自立を目指す) リスクマネジメントの積極的な取り組み 個別リハビリ計画の更なる充実 栄養マネジメントの更なる充実
<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動サービスの確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中活動サービスの積極的な取り組み

	<ul style="list-style-type: none"> ・桜林館との日中活動の連携 ・地域移行への取り組み ・地域との係りの推進
・行事の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事の見直し (利用者自治会が中心となって、どのように関わっていくか)
・グループ活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ及びサークル活動の充実 ・利用者自治会活動の充実
・班・委員会業務の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会活動の連携 ・各班・委員会業務の見直し及び充実
④利用者が満足できる職員資質の向上	
・施設内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・業務管理シートの実施 ・業務管理・人事考課・面接制度の確立 ・権利擁護委員会を中心とした権利意識の向上への取り組み ・権利擁護等虐待防止に関する研修会の実施 ・施設内研修システムの確立 (新人職員研修・中堅職員研修・ケアプラン研修 リーダー研修・リスクマネジメント研修等実施)
・施設外研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・身障協関係研修会(全国・関東・群身協研修など)参加 ・マンパワーセンター研修会参加 ・他施設見学(生活介護事業実施施設等への見学) ・自主研修(自己啓発)援助の推進
⑤地域に支持される施設の姿勢と位置付け	
・相談事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・相談事業の更なる積極的な取り組み ・他の相談事業者との連携
・短期事業の利用者拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所の積極的な取り組み ・桜林館・居宅事業との連携 ・各市町村へのPR ・渋川広域地区の在宅障害者の把握
・生活介護及び日中一時支援の受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅利用者の積極的な受け入れ ・桜林館・居宅事業との連携
・情報開示の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページでの情報開示 ・施設広報誌の発行 ・外部からの積極的な情報提供
・ボランティアの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・行事ボランティアの受け入れ ・グループ活動のボランティアの受け入れ ・個人ボランティアの受け入れ
・地域自立支援協議会への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域自立支援協議会への積極的参加 ・地域ネットワークの構築

平成28年度 前期予定表

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	金	入浴	1	日		1	水	PT・歯科	1	金	入浴	1	月	入浴	1	木	入浴・看護課会議
2	土	リネン	2	月	入浴	2	木	入浴・看護課会議	2	土	七夕会	2	火	入浴	2	金	入浴
3	日		3	火	入浴	3	金	入浴	3	日	リネン	3	水	PT・歯科・買物	3	土	リネン
4	月	入浴	4	水		4	土	リネン	4	月	入浴	4	木	入浴・看護課会議	4	日	
5	火	入浴	5	木	入浴	5	日		5	火	入浴	5	金	入浴	5	月	入浴
6	水	PT・歯科	6	金	入浴	6	月	入浴	6	水	PT・買物・歯科	6	土	リネン	6	火	入浴
7	木	入浴・看護課会議	7	土	リネン	7	火	入浴	7	木	入浴・看護課会議	7	日		7	水	PT・歯科
8	金	入浴	8	日		8	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	8	金	入浴	8	月	入浴	8	木	入浴
9	土	花見会	9	月	入浴	9	木	入浴	9	土	リネン	9	火	入浴	9	金	入浴
10	日	リネン	10	火	入浴	10	金	入浴	10	日		10	水	PT・歯科、サ、リ、調会議	10	土	リネン
11	月	入浴	11	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	11	土	あじさいまつり	11	月	入浴	11	木	入浴	11	日	
12	火	入浴	12	木	入浴・看護課会議	12	日	リネン	12	火	入浴	12	金	入浴	12	月	入浴
13	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	13	金	入浴	13	月	入浴	13	水	PT・歯科、サ、リ、調会議	13	土	リネン	13	火	入浴
14	木	入浴	14	土	マス釣り大会	14	火	入浴	14	木	入浴	14	日		14	水	P・買・歯・サ、リ、調会議
15	金	入浴	15	日	リネン	15	水	PT・歯科	15	金	入浴	15	月	入浴	15	木	入浴
16	土	リネン	16	月	入浴	16	木	入浴	16	土	喫茶店・リネン	16	火	入浴	16	金	入浴
17	日		17	火	入浴	17	金	入浴	17	日		17	水	PT・歯科・買物	17	土	レクリエーション大会
18	月	入浴	18	水	PT・歯科・防災訓練	18	土	喫茶店・リネン	18	月	入浴	18	木	入浴	18	日	リネン
19	火	入浴	19	木	入浴	19	日	リネン	19	火	入浴	19	金	入浴	19	月	入浴
20	水	PT・歯科	20	金	入浴	20	月	入浴	20	水	PT・買物・歯科・防災訓練	20	土	納涼祭	20	火	入浴
21	木	入浴	21	土	喫茶店	21	火	入浴	21	木	入浴	21	日	リネン	21	水	PT・歯科
22	金	入浴	22	日	リネン	22	水	PT・歯科・買物	22	金	入浴	22	月	入浴	22	木	入浴
23	土	喫茶店・リネン	23	月	入浴	23	木	入浴・責任者会議	23	土	リネン	23	火	入浴	23	金	入浴
24	日		24	火	入浴	24	金	入浴	24	日		24	水	PT・歯科	24	土	喫茶店・リネン
25	月	入浴	25	水	P・買・歯・防災予備・相談	25	土	リネン	25	月	入浴	25	木	入浴・責任者会議	25	日	
26	火	入浴	26	木	入浴・責任者会議	26	日		26	火	入浴	26	金	入浴	26	月	入浴
27	水	PT・歯科・買物・相談受	27	金	入浴	27	月	入浴	27	水	PT・歯科・相談受付	27	土	喫茶店・リネン	27	火	入浴
28	木	入浴・責任者会議	28	土	リネン	28	火	入浴	28	木	入浴・責任者会議	28	日		28	水	PT・歯科・買物・相談受
29	金	入浴	29	日		29	水	PT・歯科・相談受付	29	金	入浴	29	月	入浴	29	木	入浴・責任者会議
30	土	リネン	30	月	入浴	30	木	入浴	30	土	リネン	30	火	入浴	30	金	入浴
			31	火	入浴				31	日		31	水	PT・買物・歯科・相談受			
			群身協研修			職員健康診断			身障協全国大会								

|

|

|

|

平成28年度 後期予定表

		10月		11月		12月		1月		2月		3月		
1	土	リネン	1	火	入浴	1	木	入浴・看護課会議	1	日		1	水	PT・歯科
2	日		2	水	PT・歯科	2	金	入浴	2	月	入浴	2	木	入浴・看護課会議
3	月	入浴	3	木	入浴	3	土	リネン	3	火	入浴	3	金	入浴
4	火	入浴	4	金	入浴	4	日		4	水	PT・歯科	4	土	リネン
5	水	PT・歯科	5	土	リネン	5	月	入浴	5	木	入浴・看護課会議	5	日	
6	木	入浴・看護課会議	6	日		6	火	入浴	6	金	入浴	6	月	入浴
7	金	入浴	7	月	入浴	7	水	PT・歯科	7	土	新年会	7	火	入浴
8	土	リネン	8	火	入浴	8	木	入浴	8	日	リネン	8	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議
9	日		9	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	9	金	入浴	9	月	入浴	9	木	入浴
10	月	入浴	10	木	入浴・看護課会議	10	土	リネン	10	火	入浴	10	金	入浴
11	火	入浴	11	金	入浴	11	日		11	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	11	土	リネン
12	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	12	土	リネン	12	月	入浴	12	木	入浴	12	日	
13	木	入浴	13	日		13	火	入浴	13	金	入浴	13	月	入浴
14	金	入浴	14	月	入浴	14	水	PT・買・歯・サ、リ、調会議	14	土	リネン	14	火	入浴
15	土	リネン	15	火	入浴	15	木	入浴	15	日		15	水	PT・歯科
16	日	文化祭	16	水	PT・歯科	16	金	入浴	16	月	入浴	16	木	入浴
17	月	入浴	17	木	入浴	17	土	クリスマス会	17	火	入浴	17	金	入浴
18	火	入浴	18	金	入浴	18	日	リネン	18	水	PT・歯科・買物	18	土	喫茶店・リネン
19	水	PT・歯科・防災訓練	19	土	喫茶店・リネン	19	月	入浴	19	木	入浴	19	日	
20	木	入浴	20	日		20	火	入浴	20	金	入浴	20	月	入浴
21	金	入浴	21	月	入浴	21	水	PT・歯科	21	土	喫茶店	21	火	入浴
22	土	喫茶店・リネン	22	火	入浴	22	木	入浴・責任者会議	22	日	リネン	22	水	PT・歯科・買物・相談受
23	日	リネン	23	水		23	金	入浴	23	月	入浴	23	木	入浴・責任者会議
24	月	入浴	24	木	入浴・責任者会議	24	土	喫茶店・リネン	24	火	入浴	24	金	入浴
25	火	入浴	25	金	入浴	25	日		25	水	PT・歯科・相談受付	25	土	リネン
26	水	P・買・歯・防災予備・相談	26	土	創立記念食事会	26	月	入浴	26	木	入浴・責任者会議	26	日	
27	木	入浴・責任者会議	27	日	リネン	27	火	入浴	27	金	入浴	27	月	入浴
28	金	入浴	28	月	入浴	28	水	PT・歯科・相談受付	28	土	リネン	28	火	入浴
29	土	リネン	29	火	入浴	29	木	入浴	29	日		29	水	PT・歯科・相談受付
30	日		30	水	PT・歯科・買物・相談受付	30	金	入浴	30	月	入浴	30	木	入浴
31	月	入浴				31	土	リネン	31	火	入浴	31	金	入浴
関東ブロック研修 全体研修 職員健康診断			群療協施設研修									全体研修		

|

|

|

|

|

平成28年度 看護課 診療計画

4月	定期採血
5月	定期体重測定 産業医職員健康診断(夜勤業務者対象)
6月	
7月	定期健診(歯科)
8月	定期体重測定 定期健診(耳鼻科)
9月	
10月	
11月	定期体重測定 インフルエンザ予防接種 定期健診(胸部レントゲン) 事業所指定職員健康診断(全職員対象)
12月	
1月	定期採血
2月	定期採血 定期体重測定
3月	定期採血
<p>*定期血圧測定・・・毎月 *定期体重測定・・・毎月(看護課対応 2月・5月・8月・11月) *その他必要に応じた検診</p>	
<p>目 標</p> <p>1、利用者個々に沿った医療支援の充実に努める。 : 健康面の把握、予防 : 疾病の早期発見と予防 (治療・対策) (利用者の高齢化や障害の重複、重度化に伴い、 疾病に対する専門医療での検診や他科受診など、必要に応じた対応をする。) : 身体面、精神衛生面の管理</p> <p>2、支援を行う職員の向上に努める。 : 施設内研修・・・他課の職員との情報交換 看護師による研修の実施 : 施設外研修・・・施設見学、講演・講習会への参加</p>	

平成28年度 調理課給食計画

	行 事	清 掃 点 検 予 定
4月	花見会	ゴキブリ防除
5月	節句（赤飯、柏餅） マス釣り大会	ネズミ防除 厨房機器点検 油脂分離槽清掃
6月	嗜好調査 あじさい祭り	厨房内業者清掃
7月	七夕会 土用の丑の日（うなぎ）	ネズミ防除
8月	納涼祭 お盆（おはぎ）	
9月	十五夜、 敬老の日（赤飯） 秋分の日（おはぎ） レクリエーション大会	ゴキブリ防除 ネズミ防除 厨房機器点検
10月	文化祭 ハロウィン	防除 温冷配膳車点検 厨房内業者清掃
11月	恵比寿講（鰯、けんちん汁） 創立記念食事会	ネズミ防除 油脂分離槽清掃
12月	餅つき慰問、 クリスマス会 冬至（南瓜、柚子湯） 年越しそば	
平成29年 1月	おせち料理、 七草粥 新年会 恵比寿講（けんちん汁）	ネズミ防除 温冷配膳車点検 厨房機器点検
2月	節分（恵方巻き、稲荷寿司） バレンタインデー	厨房内業者清掃
3月	ひな祭り（生寿司、桜餅） ひな祭り会 春分の日（おはぎ）	ネズミ防除
<p>目標 * 旬の食材を取り入れ、家庭的な温かみのある食事作りを心がける。 * 個々の食事形態を検討し、食べやすい食事を提供する。</p>		

平成28年度 ケアホームひかり事業計画

誠光会のモットー： 顔と顔／心と心 (FACE to FACE/HEART to HEART)	
事業所の長期目標	適切なグループホーム運営を实践する 利用者が地域社会のなかで自立を目指し生活をする 誰からも支持され選ばれる事業所 地域社会に貢献できる事業所 社会福祉変革期に対応できる事業所
①健全運営(安定した経営戦略)	
・福祉変革期に対応できる 経営及び運営	・安定したグループホーム事業の経営を模索・実践する ・社会福祉変革期に対応できる運営の見直し ・グループホーム事業拡大の検討
・利用希望者の把握	・市町村・相談支援事業所・他事業所との連携の充実
②利用者が安心・安全に生活できる環境の確保	
・通院・外出の対応の確立	・安心できる通院体制の確立 ・居宅介護サービスの活用
・夜間緊急対応の充実	・誠光荘、病院との連携の充実 ・防災活動の充実(防災訓練は年2回実施) ・緊急用設備等の充実
③利用者個々のニーズにあったサービスの提供	
・サービス提供体制の確立	・重度障害者にも対応できるサービス提供体制の確立 ・在宅生活移行支援の模索 ・徹底したコミュニケーションの実施 ・居宅介護サービスを入れた利用者個々の支援を考える
・日中の生活・就労の場の確保	・通所事業所との連携の充実 ・土日における日中活動の充実 ・移動支援事業、介護タクシー等の活用
④利用者が満足できる職員資質の向上	
・事業拡大を見据えた人材育成	・サービス管理責任者2名体制の確立
・法人内の研修参加	・誠光荘にて開催される研修の参加 ・地域支援課にて開催される研修の参加
・事業所外研修の参加	・身障協関係研修会(全国・関東・群療協研修等)参加
⑤地域に支持される事業所の姿勢と位置付け	
・情報開示の充実	・ホームページでの情報開示、外部から積極的な情報提供 ・相談支援事業所との連携の充実
・地域との関わり	・地域行事の参加 ・なんでも相談室・ケアハウスぽーるすたーとの連携の充実

ケアホームひかり年間予定表

	内 容	備 考
4月		・日中活動・行事を随時検討し、実施する。 ・誠光荘にて開催される研修の参加 ・毎月1回職員会議開催
5月	防災訓練	
6月		
7月	ひかり祭	
8月	誠光荘納涼祭参加	
9月	防災訓練	
10月	誠光荘文化祭参加 全体会議	
11月		
12月		
1月	利用者新年会	
2月		
3月	全体会議	

平成28年度 誠光荘居宅介護事業所ピジョン事業計画

誠光荘のモットー： 顔と顔／心と心（FACEtoFACE／HEARTtoHEART）	
居宅介護事業の長期目標	適切な居宅介護事業運営を実践する 地域での生活を継続して送ることができる支援を実践する 誰からも支持され選ばれる事業所 地域社会に貢献できる事業所 地域社会の福祉人材を育てる事業所
① 健全運営（安定した経営戦略）	
・ 居宅介護事業の経営を実践する	・ 安定した居宅介護事業・重度訪問介護事業・同行援護事業 移動支援事業の経営を実践する
・ 利用希望者の把握	・ グループホームにおける居宅介護事業所の運営を考える ・ 介護保険、行動援護事業の運営を考える
・ 人材確保	・ 市町村・相談支援事業所・他事業所との連携の充実 ・ 登録ヘルパーの増員（新たな求人方法の模索）
② 利用者が安心・安全に生活できる環境の確保	
・ 通院介助・移動支援のための自動車の整備	・ 安全な運転のための確認（職員の体調管理・自動車の点検）
・ 緊急対応の充実	・ 緊急時マニュアルの整備・医療機関との連携
・ 他法人、他事業所との連携	・ 情報の共有と福祉サービスの提案と実践
③ 利用者個々のニーズにあったサービスの提供	
・ 居宅介護事業の体制の確立 （家事援助・身体介護・通院介助・移動支援・同行援護・福祉有償運送）	・ 勤務・業務体制の確立（ケアホーム・デイサービス兼務） ・ 安心・安全な支援内容の模索・実践 ・ 徹底したコミュニケーションの実践 ・ 各種マニュアルの整備 ・ 居宅介護計画の作成・実施 ・ 他事業所との連携の充実 ・ 医療機関との連携の充実
④ 利用者が満足できる職員資質の向上	
・ 法人内の研修参加	・ 誠光荘にて開催される研修の参加 ・ 全身協関係研修会（全国・関東・群療協研修等）参加
・ 事業所外研修の参加	・ 居宅介護支援に関わる研修参加 （技術研修・福祉有償運送研修・同行援護等）
・ ヘルパーの人材育成	・ サービスガイドラインの活用（事業所研修・ヘルパー会議の実施・徹底したコミュニケーションの実施） ・ サービスガイドラインの状況に合わせた修正
⑤ 地域に支持される事業所の姿勢と位置付け	
・ 情報開示の充実	・ ホームページでの情報開示、パンフレットの作成 ・ 相談支援事業所との連携の充実
・ 地域の福祉人材の育成	・ 経験者、未経験者問わず一定の基準まで再教育し地域で活躍してもらう

誠光荘居宅介護事業所年間予定表

	内 容	備 考
4月	吸引・酸素吸入・誤嚥研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月 1 回職員会議開催 （支援技術指導等を含む） ・ 随時、居宅介護に関する外部研修参加
5月	福祉有償運送運転者研修	
6月	心肺蘇生・AED 講習会	
7月		
8月		
9月	同行研修（一般課程）	
10月	全体会議・福祉有償運送運転者研修	
11月	同行研修（応用課程）	
12月		
1月		
2月	地域支援課研修	
3月	全体会議	

平成 28 年 度 桜 林 館 事 業 計 画

誠光会のモットー： 顔と顔／心と心 (FACEtoFACE／HEARTtoHEART)

施設の長期目標	適切な生活介護事業運営を実践する 一人ひとりがその人らしい日中生活を過ごすことができる事業所 誰からも支持され選ばれる事業所 福祉人材を育てる事業所 地域社会に貢献できる事業所
①健全運営(安定した経営戦略)	
・重度の身体障害者を中心とした生活介護事業の経営模索	・安定した生活介護事業の経営を模索・実践 ・質の高い生活介護事業の研究・実践
・生活希望者の把握・促進	・市町村・相談事業所との連携
・利用者の確保	・情報開示の充実 ・相談事業所・他の機関等との連携
・他事業との連絡	・居宅介護サービス・誠光荘・グループホームとの連携 ・その他事業所との連携
②利用者が安全・安心に生活できる環境の確保	
・重度身体障害者の受け入れ	・看護師による適切な医療的ケアの実施 ・必要な備品・物品の整備
・送迎環境の整備	・安心して送迎が可能な環境の確認(確認表の実施等) ・福祉車両購入のための補助金等検討
・施設設備環境の活用	・施設設備・環境の有効活用の実践 ・外溝等の整備
・緊急対応の充実	・家族との連絡調整の確立 ・協力病院との連携の充実 ・防災活動の充実(他施設との連携) ・緊急用設備等の充実
③利用者個々のニーズにあったサービスの提供	
・生活介護事業の体制の確立	・勤務・業務体制の確立(グループホーム・居宅の兼務) ・日中活動の確立 ・徹底したコミュニケーションの実施 ・利用者個々にあったケアプランの作成・実施 ・各種マニュアルの整備
・行事等の実施	・各季節の行事や月1回のイベントの検討・実施
・生産活動への取り組み	・生産活動への取り組み(他のB型就労事業所との連携)
・他の事業所との連携	・誠光荘を含む他の事業所との連携 ・医療機関との連携
④利用者が満足できる職員資質の向上	
・地域支援課の研修の確立	・生活介護事業を中心とした地域支援のあり方に関する研修等の確立
・法人内研修参加	・法人内で開催される研修会への積極的な参加
・施設外研修の充実	・身障協関係研修会(全国・関東・群身協研修など)参加 ・生活支援員の喀痰吸引等研修の参加 ・日中活動系関係の研修への参加
⑤地域に支持される施設の姿勢と位置付け	
・情報開示の充実	・ホームページでの情報開示 ・パンフレットの作成 ・広報たよりの発行 ・相談事業所との連携 ・外部からの積極的な情報提供
・地域交流の構築	・地域交流イベントの参加・実施

・ボランティアの受け入れ

・ボランティアの受け入れ方法の模索・検討
・社協ボランティアとの連携